

発行：愛知県防災局消防保安課
〒461-8501 名古屋市中区三の丸3丁目1番2号
TEL 052-954-6195 FAX 052-954-6913

編集：中目メディアブレン
〒460-0008 名古屋市中区栄2丁目11番30号
TEL 052-232-3500 FAX 052-232-3501

地域で頑張る消防団



消防団PR団員活動報告サイト【もっと知ろうよあいちの消防団】 <http://aichi-shobodan.jp/>

真剣なまなざしで放水をする消防団員(7月21日に半田市で開催された第57回愛知県操法大会で)

平成24年4月1日現在、愛知県では2万3608人の消防団員がそれぞれの地域で活動しています。その顔ぶれを見ると、サラリーマン、会社経営者、公務員、主婦、学生など、年齢も職業もさまざま。実に多くの人たちに支えられています。その活動内容も多岐にわたっています。火災や事故災害が発生したときに現場へかけつけ、消防署員と協力して、消火・人命救助・避難誘導・交通整理を行うのはもちろんのこと。火災がない時には、防火訓練を行ったり、防火パトロールをしたり、防火水槽の清掃をしたりして、いつ起こるとも分からない災害に備えています。

このほか、消防、防災の普及活動も消防団の役割。独り暮らしの高齢者や小学生の子どもたちに防火や応急手当の指導をすることもあります。また、秋祭りや花火大会といった地域のイベントでも実は活躍しています。お祭り会場で、火事が起きないように喫煙所

多岐にわたる活動

「あいち消防団しんぶん」では、消防団の活動を広く知ってもらうため、その取り組みを詳しく紹介します。

消防団とは、「自らの地域は自らを守る」という郷土愛護の精神に基づいて、地域住民を守るために活動している団体です。

で喫煙指導をしたり、事故に遭わないように交通整理をしたりする、消防団員の姿を見かけたことがあるという人はいませんか？

消防団はよく、「地域防災の要(かなめ)」といわれますが、文字通り地域の安全を守るために欠かせない存在といえます。



消防団PR事業実施中

愛知県では来年2月末まで、消防団活動発信事業を実施しています。これは、県内の3地域に新規雇用者を派遣。PR団員として消防団業務を体験しながら、その体験をもとにインターネットなどで広く発信することによって、消防団の魅力や重要性などをアピールしていく取り組みです。(詳細は4面に)




実施エリア	消防団
愛知西部エリア	あま市消防団
	北名古屋市消防団
愛知中部エリア	安城市消防団
	豊明市消防団
愛知東部エリア	新城市消防団
	豊橋市消防団

防災の要、「自らを守る」

「あいち消防団しんぶん」では、消防団の活動を広く知ってもらうため、その取り組みを詳しく紹介します。



消防団活動に取り組むPR団員たち
(上)リリしく敬礼をする廣田健一さん
(右上)豊橋市の女性消防団員と記念写真に収まる玉置亜弥さん
(右下)北名古屋市の夜間巡回警備で防災を呼び掛ける柴田賢治さん

 <p>廣田健一 (ひろた・けんいち) 中京大学体育学部出のスポーツマン。消防団活動の現場を自慢の体力を生かして飛び回っている「消防団王子」担当地域：安城市、豊明市</p>	 <p>柴田賢治 (しばた・けんじ) 名古屋芸術大学出身。体験取材やブログ執筆のほか、団員募集チラシやPR動画制作を手掛ける「消防団クリエイター」担当地域：あま市、北名古屋市</p>	 <p>玉置亜弥 (たまき・あや) 人気上昇中のアイドルグループ「OS☆U」の一員。地元ヒーロー消防団を盛り上げようと張り切る「消防団アイドル」担当地域：新城市、豊橋市</p>
--	---	--

PR事業が始まる前

廣田：僕はなんとなく消防団って知ってたけど、どういう活動をしているかまでは考えたことなかったなあ。

柴田：父が消防団員で、出動する姿を見たことあるよ。サイレンが鳴ると夜中でも出て行ったことが記憶にあるかな。子供の頃は消防団と消防署の違いがよく分かんなかった。

玉置：消防団ってなんだらう?何も知らなかったです。でも、3/11の東日本大震災を機にテレビで見て消防団の存在や活動を知り、興味を持ちました。

実際に参加しての感想

廣田：実は消防団が身近なところにいるってことに気づいた。小さいときは消防士さんだと思ってたのが、本当は消防団員さんだったことも。まさに「地域防災の要」の存在だね。

柴田：休日や会社帰りとかに訓練していて、大変だなと。でも、「地域を守るんだ!」って責任感を持って参加しているように感じる。団員に対して報酬や手当が出るのはいいと思った。

玉置：震災や火災での活動だけでなく、お祭り、夜回り、台風等、様々なところで活躍していることを知り、消防団って身近なヒーロー、地域のヒーローだなんて思いました!

印象に残っていること

廣田：地域防災に対する気持ちの強さを感じたな。消防団ってボランティア精神に基づいたものだし、皆さんそれぞれの仕事をしている。やっぱり地元が好きなんだと思う。

柴田：防火水槽の清掃作業や敬礼などのやり方など、いろいろなことを教えてもらったよ。夜警で、広報させて頂いたことも印象に残っていることかな。緊張したけど楽しかったな。

玉置：操法大会で豊橋市の消防団が6位入賞した事です。昨年は入賞できず悔し泣きしたけれど、今年は嬉し涙を流せました、と報告してくれました。すごかったいいなと思いました。

消防団に対するイメージが変わったこと

廣田：消防団員さんでも初めから活動内容をわかっている人は少ないということ。消防団の一員として活動していくうちに責任感もだんだん強くなるって話を聞いたときかな。

柴田：20年以上前の消防団時代の父の話を聞いていたけど、今とかなり違ってた。今は、風紀に対する意識もしっかりしているし、組織だって運営されているんだよね。

玉置：顔が広いこと。消防団を通して知り合った方がたくさんだそうで、人とのつながりが広がり、よりいっそう楽しい生活を送れるんだな、と皆さんの姿を見て感じました。

詳しい活動内容は、インターネットにて

もっと知ろうよあいちの消防団

で 検索 してください。

facebook ページも開設しています。ぜひ「いいね!」でご参加ください。
<http://www.facebook.com/aichi.shobodan>

子どもが多いからなのですよ。

あなたが地元にも貢献してみませんか

消防団の入団資格は地域によってさまざま。興味を持った人は、お住まいの地域の役所に問い合わせしてみてください。既に活躍している団員たちも、入団する前は消防団が何をしていたのか全く知らない人がほとんど。入団後に活動を通じて、消防団員として地域を守っているという使命感が生まれます。そのとき、生まれ育った地元にも貢献できていると実感できます。

また、他の地域から移転してきた人でも消防団への入団をきっかけに地域の人がたちとの関係を深めることができたという、意見を聞くこともできました。

そういった関係を深めることで地域の防犯や災害時における近所同士の連携にも役立てることができま